

学 校 教 育 目 標	笑顔かがやく きれいな学校
目 指 す 学 校 像	よく学び みんな仲良く よく遊び 認め、高め合う
重 点 目 標	1 子どもたちの主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 2 子どもたちが安心して相談できる関係づくり 3 子どもたちの地域社会の一員としての自覚の育成 4 子どもたちの豊かな心を育む、潤いのある教育環境整備 5 教職員が「働きやすさ」と「働きがい」を感じられる職場環境整備

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標					年 度 評 価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	【学びの質の向上に関する取組】 〈現状〉 ○R6の6年生の全国学テにおいて、国語・算数は全国や市の平均より高く良好である。 ○市学調で、現4～6年は各教科ともに「授業が分かる」が市の平均と比べて良好である。 ○学校評価の児童の「深い学び」で肯定的回答が87%である。 〈課題〉 ○市学調では、現4～6年は各教科ともに市平均程度であり個人差がある。 ○学校評価の児童の「タブレット活用」の肯定的回答が89%で、一層のICT利活用の実施。	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	1 5・6年生の教科担任制の実施 2 学習過程や学習ルール等を全学年で指導の統一 3 各種調査結果に基づく授業改善 4 朝学習で「PC」「対話」の導入 5 道徳・人権を核としたカリマネ実施	1 全国学テにおいて、国語、算数が、R5の市平均以上を維持できたか。 2 学校評価児童アンケート「新たな学び」で肯定的回答が前年(87%→90%)より向上。 3 市学調「問題解決学習」で肯定的回答が高学年市平均以上(R6:2/2学年)				
		・ICT環境を最大限に活用した学びの充実	1 研修指定校2年目及びリーディングDXスクール協力校としての実践の積み上げ 2 スクールダッシュボードの効果的な利活用 3 ICTを活用し、思考力・判断力・表現力等の指導の充実	1 タブレット（SSDB含）を活用した学習の振り返りを全学年で実施。 2 SSDBのおはようメーター利用を8割以上。 3 朝学習でPCリテラシー学習を全学年で実施、及び中学校と連携したスマホ学習の実施。				
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 〈現状〉 ○いじめは組織で迅速に対応しているが、見守りを継続している事案もある。 ○長期欠席者が多く、関係機関と連携したり担任solaる一むで対応したりしている。 ○心と生活のアンケートやスクールダッシュボード等で、児童の悩みの把握に努めている。 ○学校評価の児童の肯定的回答が「教員の承認」86%「教員との相談」84%である。 〈課題〉 ○児童・保護者等との積極的な教育相談の実施。 ○いじめ認知の積極の実施と早期対応。	・安全で安心できる快適な教育環境の整備	1 交通事故防止のための安全教育と施設等の点検の充実 2 水の事故防止のための着衣泳の実施 3 配慮（熱中症やアレルギー事故等）を要する児童事故対応訓練の実施 4 おたがいさまの周知	1 学校評価教職員アンケート「施設設備」で肯定的回答を前年(100%)維持。 2 保護者地域と連携した通学路点検と整備要望書の提出 3 学校評価児童アンケート「楽しく登校」で肯定的回答が前年(84%→90%)より向上				
		・家庭や地域、関係機関と連携した組織的な対応	1 心と生活のアンケート、スクールダッシュボード・おはようメーターの着実な実施と迅速・丁寧な対応 2 生徒指導等案件の確実な記録と保存 3 児童と教職員の良好な相談関係構築 4 スクリレの導入 5 Solaる一むボランティア等の配置	1 心と生活のアンケートの設定3に該当する児童に即日面談を実施。 2 市学調で「楽しい学校」の肯定的回答が高学年市平均以上(R6:3/6学年)。 3 学校評価保護者アンケート「個性伸長」で、肯定的回答が前年(86%→90%)より向上。				
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 〈現状〉 ○小・中一体型の学校運営協議会が機能し、連携・協働の取組が実施できている。 ○組織の編成や開催日を調整し学校運営協議会とSSNとの連携を図った。 ○地域の方の来校意識のハードルが低くなった。 〈課題〉 ○市学調「地域行事参加」の肯定的回答が学年によって市平均より低く、周知の徹底が必要。	・学校運営協議会とSSN等との連携・協働	1 学校運営協議会への児童の参加 2 学校・家庭・地域が連携した美化活動、挨拶運動の実施 3 PTA、地域行事の教職員への周知 4 全校児童対象童謡コンサートの実施	1 学校評価保護者アンケート「家庭・地域と連携」で肯定的回答が前年(94%→96%)より向上。 2 PTAや地域主催行事への児童や教職員の参加。				
		・地域や関係諸機関と連携した教育活動の実施	1 スマホ教室で小・中一貫の充実 2 様々な関係機関（市教委、支援課、児相、民生児童委員、警察等）と連携 3 シェフ給食の実施 4 アンケート機能を活用した声の集約	1 給食試食会と地域交流会の実施。 2 地域のヒト、モノ、コトを活用した教育活動の実施。 3 市学調「地域の見守り」の肯定的回答が、全学年市平均以上(R6:6/6学年)。				
4	【教育環境の整備に関する取組】 〈現状〉 ○築13年の校舎に、事務員の業務努力により良好な教育環境を維持している。 ○学校教育目標「きれいな学校」の学校評価アンケートで児童・保護者・教職員の肯定的回答が95%以上である。 〈課題〉 ○児童の個性を生かし、学習意欲を向上させる植栽や掲示物の一層の工夫。	・潤いのある落ち着いた教育環境の整備	1 校地内の除草、及び校舎内の廊下のワックスやトイレの洗浄の実施 2 多目的室を教室転用するため準備 3 強風対策として、スプリンクラーの修繕や砂やダスト等の現物給与の依頼	1 学校評価保護者アンケート「施設整備安全」で肯定的回答が前年(96%→99%)より向上。 2 学校評価教員アンケート「施設整備安全」で肯定的回答が前年(100%)を維持 3 ワックス整備の実施				
		・学習意欲を高める教育環境の整備	1 学校農園等で地域の農家と連携した農業（栽培）体験の実施 2 正門等の校地入り口の花壇整備 3 児童の作品を生かした校舎内掲示物及びモニターの設置	1 通年継続した花壇の整備の実施 2 学年園等を活用した栽培活動の実施 3 クラス前掲示板に児童作品、学年掲示板に行事等の掲示、踊り場に出品作の掲示、特別教室に作品の提示を実施				
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 〈現状〉 ○研修奨励を、独自の振り返りシートや中間面談を生かして実施している。 ○R6の在校時間月平均45時間以上勤務をしている者は4・5月は4割程度いる。 ○教職員の同僚性や研修意識が高い。 〈課題〉 ○初任者、臨任者等の経験が少ない教員の指導力の育成。 ○学校全体で業務改善や教育課程の工夫を推進。 ○保護者や地域への教職員の働き方改革の周知	・教職員のキャリア段階に応じた資質・能力の向上	1 メンター・メンティー制や指導者を招聘したコーチング理論の周知と実践 2 中間面談の実施と研修履歴表の作成、及びそれを活用した評価の実施 3 管理職による教室巡回とフィードバック、授業観察の実施	1 学校自己評価の教員の「授業改善」で、肯定的評価（100%）の維持。 2 管理職による毎日の教室巡回と、一人年1回以上の授業観察及びフィードバックの実施。 3 当初面談等で研修奨励の実施。				
		・「やりがい」「働きがい」を高める働き方改革の推進	1 年間行事や日課表等を見直して、ゆとりある勤務体制を構築。 2 テレワーク（在宅勤務）の推奨 3 Teams や校務支援システム、生成AI等を活用した業務の効率化の実施 4 「おかげさま」の周知	1 ストレスチェックの全国平均より上司・同僚の支援（R6 男性 10.4 と 10.5、女性 9.0 と 9.4）が高位。 2 人事異動調書満足度（R6:97%）の肯定的回答の維持。 3 4月・1学期在校時間（R64 月平均 41h、45h 以上 22 人・41%、1 学期平均 35h）縮減				

